

研究に関する情報公開

1. 研究概要

現在、当法医学講座では、医療法人 十全会 聖明病院と共同で以下の研究を実施しています。

- 尿中の大麻成分が陽性であった方を対象とした研究：「ヒト唾液中及び尿中の大麻成分の超高感度検出法の開発」
- 尿中の覚せい剤成分が陽性であった方を対象とした研究：「ヒト唾液中及び尿中の覚せい剤成分の超高感度検出法の開発」

本研究では、2024 年 8 月 1 日～2027 年 12 月の期間中に医療法人 十全会 聖明病院に入院し、尿中簡易薬毒物検査で大麻または覚せい剤反応が陽性であった方から得られた試料（唾液・尿）および関連情報を利用させていただきます。

この研究について詳しく知りたい方は、下記の窓口までご連絡ください。

2. 研究の意義・目的

近年、大麻や覚せい剤の乱用が社会問題となっており、確実な検出手法の開発が求められています。本研究では、これらの薬物使用のより確実な証明を目的として、新しい検査方法の開発を行います。

具体的には、人の唾液や尿を用いた高感度な分析法を確立することを目指しています。

- 唾液の特徴：偽装が難しく、使用直後の検出に適している。
- 尿の特徴：薬物の使用歴を長期間にわたり把握できる。

また、時間の経過とともに薬物成分の検出が難しくなるため、本研究ではより長期間にわたり確実に検出できる手法の開発を目指します。

3. 研究の方法

研究対象

2024 年 8 月 1 日～2027 年 12 月の期間中に、医療法人 十全会 聖明病院において入院時の尿中簡易薬毒物検査で大麻または覚せい剤成分が陽性であった方を対象とします。

研究内容

- 唾液・尿に含まれる大麻、覚せい剤成分を、液体クロマトグラフィー・タンデム質量分析計（LC-MS/MS）を用いて超高感度で分析する。

また、必要に応じて年齢、性別、薬物使用歴、既往歴、内服歴、入院から退院までの経過記録、血液検査結果などについても適宜参照します。

4. 試料・情報の取り扱い

- 匿名化・厳重管理

- 研究で得られた試料および情報は、匿名化して管理します。
 - 試料および情報は、浜松医科大学法医学講座および医療法人 十全会 聖明病院内部のみで使用し、外部には一切提供されません。
 - 個人情報の非公開
 - 研究成果を発表する際は、個人を特定できる情報（氏名など）は一切公表しません。
-

5. 研究組織

研究代表機関

- 浜松医科大学法医学講座
 - 研究代表者 教授 長谷川弘太郎

共同研究機関

- 医療法人 十全会 聖明病院
 - 研究責任者 病院長 古川愛造
-

6. 研究への参加を希望されない場合

本研究にご自身の情報や試料を使用してほしくない場合は、研究結果が公表される前であれば、情報の削除などの対応をいたします。

希望される方は、下記の連絡先までご連絡ください。

ご連絡がない場合は、研究への同意をいただいたものと判断し、研究を進めさせていただきます。

7. 研究の計画・方法・結果の開示について

- 研究計画・方法の開示
 - 研究の計画や方法に関する資料の提供・閲覧を希望される方は、研究担当者までご連絡ください。
 - ご自身の研究結果の開示
 - 研究対象者ご本人が自身の研究結果を知りたい場合は、研究担当者にお申し出ください。
 - ただし、他の対象者に不利益が生じない範囲でのみ開示いたします。
 - 他の対象者の個人情報に関する資料の提供は不可
 - 研究対象者であっても、他の対象者の個人情報を含む資料の提供・閲覧はできません。
-

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

情報公開文書は、以下のページでも閲覧できます。

研究実施機関 : 浜松医科大学医学部 法医学講座

本件のお問合せ先 : 浜松医科大学医学部 法医学講座

代表者 長谷川弘太郎

FAX : 053 (435) 2858

研究代表者 : 長谷川弘太郎

共同研究機関 : 医療法人 十全会 聖明病院

本件のお問合せ先 : 医療法人 十全会 聖明病院

代表者 古川愛造

FAX : (0545) 35-3192

研究代表者 : 古川愛造